

情報工学科 2025年度 第2回 教育課程編成委員会議事録

日 時： 2026 年 2 月 24 日（火） 11 時 00 分～12 時 00 分

場 所： YIC 情報ビジネス専門学校 2 号館 1 階 学生ホール（Microsoft Teams ミーティング）

参加者： 米澤 豊 様 （株式会社ビーアライブ 代表取締役）
板倉 真紀 様 （株式会社グッドニュース 取締役副社長 CareerMap Labo 編集長）
長畑 勉 様 （一般社団法人山口県情報産業協会 会長）
阪上 誠 様 （株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社 新卒採用部長）
小田 政江 （副校長）
杉林 伸繁 （特任部長）
三船 龍 （事務長補佐）
森野 茂弘 （教務課長）
柳川 小次郎 （情報工学科 学科長）
田中 梓 （情報工学科 教員）

議事

1. 2025 年度の成果報告（柳川学科長）

・ 学生在籍状況：

- ✓ 期末在籍数は 83 名（期首在籍数 89 名）、退学率は 2.2%と低い水準を維持している。

・ 国家試験の実績：

- ✓ 基本情報技術者試験は、科目 A 免除試験の活用や長期休暇中に実施される検定対策授業、競技プログラミングサイト paiza での自主学習の推奨により、昨年より合格数が大幅に向上した。
- ✓ 一方で、情報セキュリティマネジメント試験の合格数は低下した。現 2 年生の基礎学力が前年比で見劣りしたことや、勉強不足での受験が要因と思われる。

・ コンテスト実績：

- ✓ MBSD セキュリティコンテストで最終選考会に出場したほか、山口県警主催のコンテストで YIC チームが 4 位になるなどの成果を上げた。

・ 就職実績：

- ✓ 3 年生の就職希望者 29 名中 27 名が内定済み。例年よりも内定時期が早く、12 月に内定を得た学生も。また、2 年生（次年度 3 年生）でも既に 4 名が内定承諾して進路を確定させている。

2. 教育課程の改善と経過報告（柳川学科長）

・ 学習ツールの導入効果：

- ✓ 競技プログラミングサイト paiza を導入し、ランクに応じた成績加点を行った結果、1 年生のプログラミング学習意欲が大きく向上した。
- ✓ 基礎学力対策の「すらら」を継続し、これまで筆記試験で不合格となっていた企業から内定を得る学生が出るなど、着実な手応えを得ている。

・ 生成 AI への対応：

- ✓ 山口大学の大島教授を招いてプロンプトエンジニアリングや生成 AI ツールの授業を実施した。
- ✓ 昨年同様、生成 AI の API を利用した生成 AI アプリのプログラミング演習を実施した。
- ✓ 課題として、プログラミングの苦手な学生が AI に依存し、修正指示に対応できなくなるケースや、履歴書作成での不適切な使用が見られたため、指導の強化が必要。

・ 実践的スキルの強化：

- ✓ 第 1 回委員会での提言を受け、第三者が書いたコードを読み解き修正する「レガシーコードの読解・改修」の演習を次年度から本格導入する予定。

3. 2026 年度の体制と今後の展望（柳川学科長）

・ 募集状況と市場環境：

- ✓ 山口県内の大学に情報系学部が新設された影響で、入学者が減少傾向にある。
- ✓ これに対し、大学よりも数年早く最新技術（セキュリティや AI 活用など）をカリキュラムに取り入れることで、専門学校ならではの「実践教育」による差別化を強化する戦略が示された。

・ 新体制：

- ✓ 柳川学科長と田中教員が退職し、2026 年 4 月からは森野教務課長が新学科長に就任する。

・ 産学連携の深化：

- ✓ AWS などのクラウド技術に関する授業を企業と連携し、科目丸ごと外部の講師に委託するなどの新しい連携形態を検討中。

4. 委員からの主な意見と提言

・採用・就活における AI 活用（板倉委員）：

- ✓ AI 利用は不可逆的な流れであるが、適切なプロンプト作成など「使いこなす能力」を教えることが、今後のキャリア支援において重要になる。

・専門学校の差別化（永畑委員・板倉委員）：

- ✓ 大学との競合が激化する中で、実務に即した「学び直しの受け皿（リカレント教育）」としての可能性も広げていくべきである。

・セキュリティ教育の価値（米澤委員）：

- ✓ 他校が学生募集に苦戦する中で、山口県警や防衛省と連携してセキュリティ人材を育成できている点は全国的にも稀有な強みであり、今後も継続すべきである。

・現場感覚の習得（阪上委員）：

- ✓ 若年層へのサイバーセキュリティへの関心を高める取り組みや、実務で主流となるレガシーコードの改修スキルの習得は、採用側からも非常に評価できる。

5. 閉会

・次回の委員会：

- ✓ 2026 年 9 月から 10 月頃に第 1 回を開催する予定である。